

大会要項

V2.0

1. 大会名称

2023年度関東大学アイスホッケーリーグ戦

2. 主催

公益財団法人東京都アイスホッケー連盟

3. 協賛

茨城県アイスホッケー連盟 神奈川県アイスホッケー連盟 埼玉県アイスホッケー連盟

千葉県アイスホッケー連盟 栃木県アイスホッケー連盟 山梨県アイスホッケー連盟

4. 後援

公益財団法人日本アイスホッケー連盟 毎日新聞社 スポーツニッポン新聞社

5. 期間

2023年9月2日(土)～12月17日(日)

6. 会場

ダイードリンコアイスアリーナ 〒202-0021 東京都西東京市東伏見3-1-25

東大和スケートセンター 〒207-0022 東京都東大和市桜が丘 1-1330-19

7. 大会事務局

公益財団法人東京都アイスホッケー連盟

〒202-0021 東京都西東京市東伏見3-1-25

TEL:042-467-8282 FAX:042-468-2131

8. 参加資格および登録

* 選手および役員は、**2023年7月31日(月)までに**(公財)日本アイスホッケー連盟登録完了済みであること(登録料支払い済みを原則とする)。

* 選手・役員の追加登録

大会期間中、随時受け付ける。ただし、試合前日までに登録が完全に完了していない場合、試合に出場できない。

* 選手・役員の追加登録の際は、その都度、全員分の記載のある更新した参加申込書を提出する。

* 選手登録人数がゴールキーパー1名とスケーター5名に満たないチームは、今大会に限り参加資格を失う。

* 女子および大学院生は試合への参加資格を持たない。

9. 参加チームおよびグループ分け

[2023年関東大学アイスホッケーランキング](別ページ参照)により、下記の通り、Divisionを分ける。

Division IA	1位から8位	8チーム
Division IB	9位から14位	6チーム
Division II	15位から20位	6チーム
Division III	21位から26位	6チーム
Division IV	27位から29位、31位から33位	6チーム
Division V	34位から39位+新規加盟	7チーム

ただし、大会参加大学数によりグループ内チーム数に変動することがある。

※ リンク事情などにより、急遽試合日程の変更の可能性があることをご承知おきください。

10. 大会参加申込み

指定様式に入力し、**2023年7月31日(月)までに**下記宛先にEメールにて送信する。

申込書は必ずExcel形式で提出する。

送信先アドレス: univ@tihf.gr.jp

11. 大会費

大会参加費	Division I~V	50,000円
試合費	Division IA・IB	70,000円 × 試合数
	Division II~V	60,000円 × 試合数
支払い期限	大会参加費	2023年7月31日(月)まで
	試合費	各チーム最終試合の前日まで

大会期間中に中止となった場合、いかなる理由でも大会参加費の返金を行わない。

振込先	銀行名	東京三協信用金庫 東伏見支店 (店番号 016)
	口座名	公益財団法人東京都アイスホッケー連盟 ザイ)トウキョウトアイスホッケーレンメイ
	口座番号	普通 0100388

12. 保険の加入

大会参加チームは傷害保険に加入し、保険証券または保険申込者(加入者)がわかる明細のコピーを連盟事務局に提出する。

提出期限 2023年8月31日(木)まで

13. キャンセル規定

* 原則、リンク枠のキャンセルは行わない。

* 試合費: チーム事情により試合を棄権した場合、棄権したチームが当該試合の両チーム分の試合費を全額負担する。対戦チームは、中止となったリンク枠で練習をすることができる。

14. 表彰

チーム表彰 すべてのDivisionの1位~3位チームを表彰する。

個人表彰 すべてのDivisionより、最優秀選手賞1名、最多ポイント賞を選出し、表彰する。
Division Iより、ベスト6を選出し、表彰する。

Division IA上位2チームは、「第91回全日本アイスホッケー選手権大会(A)」への出場権を得る。

ただし、(公財)日本アイスホッケー連盟により、関東大学アイスホッケーリーグ戦に与えられる出場枠数が変更された場合、この限りではない。

15. 表彰式

Division IAのみ表彰式を行う。

原則として、選手全員参加とする(主将を含め最低5名以上の選手が参加すること)。

スケート、ユニフォーム、部旗を持参する。

16. 入場料

一般 1,000円 高校生・中学生・小学生 500円

※ ダイドードリンコアイスアリーナの試合のみ、入場口にて当日券のみ販売。

17. 試合映像撮影・配信

- * 本大会では、試合の映像撮影およびその映像配信を行うことがある。
本大会に参加する全ての選手、スタッフ、競技役員等は、本大会参加中の肖像の管理を（公財）東京都アイスホッケー連盟に委ねることを本大会参加をもって承諾したこととする。
- * AIカメラ（（公財）日本アイスホッケー連盟）による動画配信について：
本大会における試合のテレビ・ラジオ放送権、インターネットその他一切の公衆送信を行う権利（公衆送信権）は、（公財）日本アイスホッケー連盟に帰属することとし、公衆送信権を（公財）東京都アイスホッケー連盟に許諾することがある。

18. その他

- * 大会期間中、選手・スタッフ・関係者すべての施設内入場は、IDを所持している者のみとする。
IDは常に見えるように、首からかける。
- * 大会期間中であっても、新型コロナウイルス感染症の影響およびリンク事情による日程変更・対戦方式の変更、特別な条項が追加される可能性があることをご承知おきください。

1. 競技方法

- * [対戦方式](別ページ参照)によるリーグ戦を行う。
- * 対戦表の左側を仮ホームチームとし、本部席から向かって左側のベンチに入る。
- * 試合でのホームチーム、ビジターチームは、試合前のパックスにて決定する。
その際、仮ホームチームがパックの表裏を選択できるものとする。

2. 競技時間

- * 練習終了後、整氷を行う。
- * 練習および試合は、前の試合が終わり次第、順次時間を繰り上げて開始する(最大30分)。

【Division IA/IB】 練習 7分 正味 20分 × 3ピリオド ピリオド間インターバル 約12分(整氷)

【Division II~V】 練習 7分 正味 15分 × 3ピリオド 1P-2P間インターバル 5分
2P-3P間 約12分(整氷)

【Division IB下位2チームとDivision II上位2チームによるファイナルリーグ】

練習 7分 正味 20分 × 3ピリオド ピリオド間インターバル 約12分(整氷)

【ランニングタイム:共通】

- * 各グループの試合で、7点以上の得点差がついた時点で、次のフェイスオフ以降はランニングタイムとする。

① 点差が縮まった場合でもランニングタイムは継続する。

② 次の場合は時計を一旦止める。

- 得点時(レフェリーが本部席オフィシャルに得点を報告し、電光掲示板入力を確認され次第直ちにスタートする)
- ペナルティ発生時(次のフェイスオフでパックがドロップされた後スタートする)
- タイムアウト(アナウンスと同時に止め、終了ブザーと同時にスタートする)

③ ペナルティ時間終了時にプレーが止まっていた場合、ペナルティボックス内の選手は次のフェイスオフでパックがドロップされるまでペナルティボックス内から出てはならない。

【同点の場合:共通】

* ファイナルリーグ以外:

- ・ 第3ピリオド終了時、同点の場合、両チーム5名ずつのペナルティ・ショット・シュートアウト(以下PSS)により勝敗を決定する。このとき、各チームのゴールキーパーは第3ピリオドと同じサイドを守る。
ただし、レフェリーが氷面を確認し、両サイドを利用することがどちらかのチームに不利になると判断した場合には、レフェリーが使用するサイドを決定する。
- ・ さらに同点の場合はサドンデス方式による両チーム1名ずつのPSSにより勝敗を決定する。

* ファイナルリーグ:

- ・ 第3ピリオド終了時、同点の場合は、3分間のインターバル後、サドンデス方式による3対3の正味5分間の延長ピリオドを行う。
- ・ なおかつ同点の場合は、両チーム5名ずつのPSSにより勝敗を決定する。
- ・ さらに同点の場合はサドンデス方式による両チーム1名ずつのPSSにより勝敗を決定する。

* PSSの先攻・後攻の選択権は、パックスにおいて決定する。

3. 順位決定方法

勝ち点を以下の通りとする。

	レギュレーション タイム勝ち	延長戦・PSS 勝ち	延長戦・PSS 負け	レギュレーション タイム負け
勝ち点	3	2	1	0

順位決定は以下の通りとする。

* Division IのファーストリーグおよびDivision II以下

- ① 勝ち点の大なるもの
- ② 当該校の対戦成績の勝ち点の大なるもの
- ③ 当該校同士の試合の得失点差の大なるもの
- ④ 当該校同士の試合の得点の大なるもの
- ⑤ 全試合の得失点差の大なるもの
- ⑥ 全試合の得点の大なるもの
- ⑦ 前年度ランキング上位のもの

* Division Iのファイナルリーグ

- ① 勝ち点の大なるもの
- ② 当該校の対戦成績の勝ち点の大なるもの
- ③ 当該校同士の試合の得失点差の大なるもの
- ④ 当該校同士の試合の得点の大なるもの
- ⑤ 全試合の得失点差の大なるもの
- ⑥ 全試合の得点の大なるもの
- ⑦ [Div. IAのファイナルリーグ] ファーストリーグ上位のもの
- ⑦ [Div. IA下位2チームとDiv. IB上位4チームの
セカンドリーグ上位4チームによるファイナルリーグ] セカンドリーグ上位のもの*

*ファーストリーグで直接対戦していないIA、IBチームが勝ち進む可能性があるため。

4. 競技規則

(公財)東京都アイスホッケー連盟の定めるローカルルールを除いては、原則として、国際アイスホッケー連盟の定めるアイスホッケー公式国際競技規則、ならびに(公財)日本アイスホッケー連盟の定めるルールによるものとする。

5. 補助規則(東京都アイスホッケー連盟が定めるローカルルール)

- 1) 連盟未登録選手が出場した場合、その試合に限り没収試合とし、不戦敗(スコアは0対15)とする。
- 2) オールメンバー表に記載されていない選手は試合に出場できない。
オールメンバー表に記載されていないスタッフはベンチ入りできない。
- 3) プレーヤーはバイザーまたはフルフェイス・マスクの付いたヘルメットを着用しなければならない。
顎紐と顎の間のゆとりは指1本分のみとする。バイザーは鼻が全て覆われるものなければならない。
プレーヤーは試合前の練習中、ベンチ内、ペナルティボックス内にいるときも、ヘルメットを正しく着用していなければならない。
- 4) チームのすべてのプレーヤーは、同じユニフォーム、パンツ、ストッキング、ヘルメットを着用しなければならない。
- 5) プレーヤーはマウスガードを着用しなければならない(試合中の不正な着用は警告なしにミスコンダクト・ペナルティを科す)。

- 6) 危険な用具を着用している選手は試合に出場できない。
試合前の整列時にレフェリーが両チームのプレーヤーの用具着用状態を確認する。
試合中、正しく防具を着用していないプレーヤーに対しては、警告なしにミスコンダクト・ペナルティを科す。
「お守り」は防具の内側に縫い付ける。それ以外のアクセサリ等の着用は認めない。
なお、これは相手チームからのアピールでは受け付けず、レフェリーの判断によるものとする。
- 7) グローブ、ヘルメット以外の用具は完全にユニホームの下に着用し、ユニフォームはパンツから必ず出す。
タイダウンストラップで密着させなければならない。
試合中、ベンチから氷上に出る際、ユニフォームがパンツから出ているか、選手スタッフ間で確認する。
- 8) ストッキング上のテープは透明がよい。ストッキングのデザインと違う色のテープにより、色をまたいでテープを巻く場合(クロスさせる等)は、透明のテープのみ使用できる。ベルクロタイプのバンドも同様とする。
- 9) **2004年1月1日以降**に生まれた選手は、ネックガード、イヤガードを着用しなければならない。
該当する選手は、オールメンバー表のチェック欄に記入して提出する。
- 10) 練習中、ゲーム・スーパーバイザー(GSV)がヘルメットやストッキング等の防具を正しく着用しているか確認し、是正させることがある。
- 11) 試合の際に役員(監督、コーチ等)のうち1名は必ずベンチ入りする。役員はIDを着用しなければベンチ入りできない。役員不在の場合は試合放棄とし、不戦敗(スコアは0対15)とする。
役員とは「大会要項 8」のチーム役員登録された者を指す。
※学生は役員として登録することはできない。
- 12) ベンチにはゴールキーパー2名、プレーヤー20名の計22名、役員6名まで入れる。
外国籍を有する選手は3名以内とする。
- 13) タイムアウトは全試合、各チーム1回使用できる。
- 14) オールメンバー表、オフィシャル担当表は当連盟所定の用紙に記載し、試合(オフィシャル当番)の当日、入場時(練習開始1時間前)に提出する。
- 15) 試合当日(試合開始時)、試合を遂行するのに必要な最低人数(ゴールキーパー1名とスケーター5名)に満たないチームは、その試合を放棄したものとみなし、不戦敗(スコアは0対15)とする。
- 16) 仮ホームチームはユニフォームの色を選択できる。ただし、対戦する両チームのユニフォームが同系色の場合は、原則、仮ホームチームがユニフォームを変えなければならない。
基本は、仮ホームが色付き、ビジターが白系を着用する。チーム間の協議が整えばこの限りではないが、必ず事前にレフェリーおよびGSVの許可を得る。
- 17) 練習後・ピリオド終了時・試合終了後など、両チームが同一通路を使用して控室に戻る場合、両チームが同時に移動しないよう、出入口に近いベンチのチームから先に速やかに氷上より退場する。
なお、後のチーム(氷上にいる選手)は、一度自チームのベンチに戻り、レフェリーの指示により退場する。先のチームが故意に退場を遅らせたり、後のチームが故意に自チームベンチに戻らない場合は、ベンチ・マイナー・ペナルティを科す。
- 18) ベンチドアマンの取り扱い
- ① 当日の試合に出場しないが選手登録されている学生2名以内をベンチドアマンとして置くことができる。この場合、オールメンバー表のスタッフ欄に記載する。ただし、役員6名には含まれない。
 - ② ベンチドアマンは、危険防止のためフルフェイスマスクの付いたヘルメットの着用を義務付ける。
試合前の整列時に、レフェリーがベンチドアマンの用具着用状態を確認し、正しく装備していない場合、その試合のベンチ入りを認めない。この場合、ペナルティ(ベンチ・マイナー)は科せられない。
- 19) 試合中、ベンチ内での写真・動画撮影は禁止する。コーチングの目的にのみ、電子機器の使用を認める。

- 20) ベンチ入りする学生スタッフ(マネージャー、トレーナー等)は危険防止のため、フルフェイスマスクの付いたヘルメットの着用を義務付ける。レフェリーが規定に違反している学生を発見した場合、該当者をベンチから退場させる。ただし、ペナルティ(ベンチ・マイナー)は科せられない。
- 21) 第2ピリオド、第3ピリオド開始時は、ファーストセットのみ氷上に上がる。
- 22) 申請した登録と試合当日の背番号に変更がある際は、オールメンバー表提出時、競技役員(大会運営委員長、GSV、スコアラー等)に報告する。
- 23) ユニフォームの名前を隠す際は、同系色の布を縫い付ける(テープ使用は不可)。

6. 試合中の負傷

試合中に選手が負傷した場合は、当連盟所定のフォームに記載し、事務局宛てにメール送信する。試合中に起こった傷害に関して応急処置は行うが、その後は各チームおよび個人の責任とする。観客も同様とする。

注意事項

- * 事前の連絡なく、代表者会議、オフィシャルクリニック、表彰式、試合、オフィシャル当番を遅刻、欠席、棄権した場合、また連盟の規約に違反した場合、JIHFリスペクト憲章に反する行為をした場合は、学生事業委員会ならびに審議委員会にて協議し、処分を科す。
- * 試合前練習の際、終了ブザー後にシュートを打った選手は、その試合の出場資格を失う。
- * ペナルティベンチ内では、ペナルティ終了30秒前まで座っていること。味方への応援を含む一切の私語を禁止する(上記については、レフェリー以外が別途処分を科すことがある)。

新型コロナウイルス感染症による特別ルール

<競技要項>

1. 試合時のツバ吐き行為は、いかなる理由があってもゲーム・ミスコンダクト・ペナルティ を科す。一旦口に入れた水等を吐き出す行為もツバを吐く行為と同様にみなす。

<その他>

- * 施設に入る際は、手指消毒を行う。
- * ゴミは各チームで持ち帰る。
- * 大会期間中、控室のシャワー利用を禁止する。
- * 試合終了後30分以内に退場する。
- ※ 新型コロナウイルス感染症防止対策等の社会情勢により、大会期間中であっても内容変更の可能性のあることをご承知おきください。

<緊急連絡先>

- | | | |
|-------|----------|-----------------|
| 第1連絡先 | 大会運営委員長 | 横川 将也(学生事業委員長) |
| 第2連絡先 | 大会運営副委員長 | 内山 邦也(学生事業副委員長) |